

長島町総合文化祭

11月10日から11日にかけて、第7回長島町総合文化祭が、文化ホール、B & G海洋センター体育館で開催されました。

10日の前夜祭では、津軽三味線正絃流藤心会のオーブニングで幕が開けられ、合唱やダンス、健康体操などが披露されました。

11日の本番では、あおい幼稚園の鼓笛隊を皮切りに、各小中学校や団体がこれまでの練習の成果を発表しました。

指江保育園の園児らによる運動ストレッチでは、開脚や側転、ブリッジ歩行などを披露すると、観客席のあちこちから「これまでよく練習してきている。柔軟な体がすごい」と園児らを褒める声がかえ、たくさんの拍手が送られました。

出演した年長組の町田静季ちゃんは「運動ストレッチのおかげでブリッジが得意。これからは飛び箱10段に挑戦したい」と照れながら話しました。正覺美於子園長は「園児らが一生懸命取り組む姿は最

高。今後も一つずつでいいので、努力して何事もあきらめないでほしい」と成長を期待していました。

このほか同会場のロビーでは、茶道部がお茶席として野点を設け、まこと保育園の園児が来客者などにお茶を出すなど、慣れないながらもかわいい手つきで、一生懸命頑張っていました。

園児からお茶をもらった指江の池田桂子さんは「子どもさんがたのお手前がよろしくおいしかった」と褒めていました。

B & G海洋センター体育館内では、保育園や幼稚園、小中学校、一般から出品された書道や絵画、文化協会会員の短歌、手芸品、盆栽、陶芸、華道、写真などいろいろな作品約1500点が展示されました。

手の込んだ作品の前では立ち止まって記念撮影をする来場者や、出品者からの苦労話を聞くかたなど、芸術の秋を満喫していました。



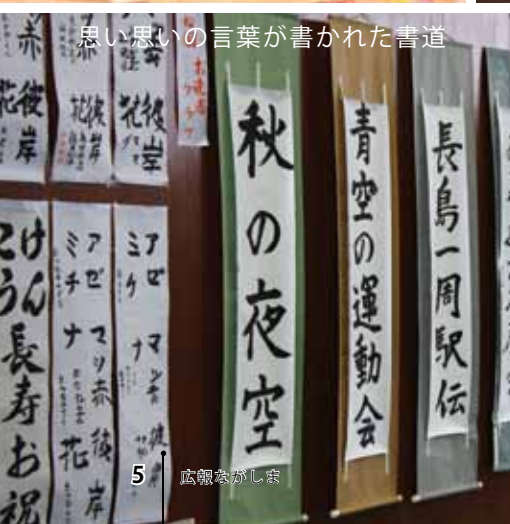
指江保育園の運動ストレッチでブリッジ歩行を披露する園児



幣串小学校児童による踊り“へぐしソーラン”



文化ホール入口に飾られた菊の花



思い思いの言葉が書かれた書道



手入れされた盆栽などを鑑賞する来場者



川床保育園とあおい幼稚園の作品で、木の板を重ね合わせで作った橋と道路